

講座名（専門科目名）	器官制御外科学（整形外科）	教授氏名	吉川 秀樹
学生への指導方針	「新」ではなく「真」を追求し、国際的レベルで競う事のできる「研究力」を身につける		
学生に対する要望	自ら問題を提起し解決に向けて努力する真摯な研究態度が望まれる		
問 合 せ 先	(Tel) 06-6879-3552 (Email) <a href="mailto:makohira777@gmail.com">makohira777@gmail.com</a>	担 当 者	平尾 眞
その他出願にあたっての注意事項等			

（以下教室紹介）

開講 70 周年を迎えた大阪大学整形外科は、約 800 名の同窓会員を有するわが国有数の整形外科教室です。西日本の経済・文化の主要都市大阪を中心に 50 施設を超える多数の関連病院を擁し、運動器疾患の診断・治療において多方面から絶大な信頼を得、さらに基礎・臨床研究において多くの業績を残しています。

■ 大学院生を含めた教室所属者には以下の 5 つの課題が求められます。

### 自立した人格形成

社会の規範となる自主独立した人格を形成し、大阪大学整形外科の一員として誇りと責任を共有する。

### 豊富な知識

運動器に関する科学的知識を系統的に理解するとともに、常に新しい情報に対する感度を高め、新たな真実の知見を見極める能力を培う。

### 真理を求める探究心

運動器疾患における臨床的な疑問点を見出して解明しようとする意欲を持ち、その解答を科学的に導き論理的に正しくまとめ、発信する能力を身につける。

### 高い倫理観

豊かな人間性と高い社会的倫理観の元、整形外科医師として心のこもった医療を患者に提供し、健全な運動器の発育と健康維持に貢献する。

### 幅広い診療実践能力

豊富な症例数に基づいた研修により、運動器全般に關して的確な診断能力を身につけ、適切な保存療法、リハビリテーションを実践する。さらに基本手技から最先端技術までを網羅した手術治療を実践することで、運動器疾患に関する良質かつ安全な医療を提供する。

■ 研究内容は、進学応募者が希望する以下の研究チームに所属して指導を受けます。

臨床研究課題解決チーム：腫瘍、脊椎、股関節、膝関節、肩関節、手・上肢、スポーツ、リウマチ、小児整形  
横断的研究課題解決チーム：骨軟骨代謝再生、骨関節動態解析

医学部出身者以外にも広く門戸を開いています。進学希望者は遠慮なく担当者にお問い合わせ下さい。